

あ と が き

編集顧問

糸 満 盛 憲
越 智 隆 弘
小 野 啓 郎
菊 地 臣 一
黒 坂 昌 弘
清 水 克 時
高 岸 憲 二
竹 光 義 治
富 田 勝 郎
戸 山 芳 昭
内 藤 正 俊
守 屋 秀 繁
矢 部 裕
山 室 隆 夫

編集主幹

吉 川 秀 樹
編 集 委 員
金 谷 文 則
黒 田 良 祐
土 屋 弘 行
仁 木 久 照
松 本 守 雄
松 山 幸 弘
山 本 卓 明

オンライン投稿

ID : rinseige

パスワード : rinseige

「知進知退 随時出處」平成 29 年大相撲春場所 19 年ぶりに日本出身の新横綱となった稀勢の里関が感動の逆転優勝を飾った後に、元横綱審議委員内館牧子氏による、ある全国紙への寄稿にあった文言です。「進むべきところを知り、退くべき時を知り、いつでもそれに従う。」手負いの新横綱はなぜ土俵に上がり続けたのか、単に「あきらめない心」ではなく、経験や苦勞から得た己の「知進」に従い、周りが何と言おうと、今は「進むべき時」と判断したのである。感動の千秋楽だったので、この寄稿は心に残っていました。この興奮が冷めやらぬうち、長年フィギュアスケート界を牽引してきた浅田真央選手が引退を宣言。シニアデビュー以来、浅田選手のアスリートとしての気持ちの強さにたくさんの元気をもらいました。諸事情あったと思いますが、最後には己の「知退」に従い、今が「退くべき時」と判断したのかもしれない。いかなる仕事、環境下だろうと「知進知退 随時出處」という背骨を持っている人間は強く、動じない。そうした人だからこそ、高みを目指せるのだと改めて感じた次第です。

さて、今月は「Lecture」では、診断が難しい腰痛の 1 つとして注目されている仙腸関節障害について、村上栄一先生に「仙腸関節障害の診断と治療」としてご執筆いただきました。「整形外科・知ってるつもり」では萩野浩先生に「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015」として、ガイドライン作成の経緯、2015 年度版改訂のポイント、治療薬の有効性の評価、薬物治療開始基準、そして新しいガイドラインで変わらないもの、変わるものについて、わかりやすくエッセンスを述べていただきました。「最新基礎科学 知っておきたい」では、鳥越甲順先生に「Tendon gel (腱の再生)」と題し、人工腱・靱帯の誕生の瞬間から今後の可能性までわかりやすくご紹介いただきました。基礎科学の面白さを垣間見ることができると思います。また「連載」の「慢性疼痛の治療戦略—治療法確立を目指して」では、三瀧忠道先生に関節や神経の疼痛、腰痛に対する漢方製剤の基本をお示しいただきました。さらに多岐にわたる分野からの「臨床経験」、「症例報告」に加え、「論述」の 3 編の原著論文も非常にレベルが高く、読み応えがある内容になっています。ぜひ、ご一読ください。

このあとがきを執筆しているのは仙台で日学会が開催される直前です。学会のテーマは「復興と再生」です。「復興」は決して退くことはできません。改めて自分は何ができるのか、この学会を通して見つめ直してみたいと思います。(仁木久照)

臨床整形外科 (第 52 巻第 6 号)

2017 年 6 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

定価 本体 2,600 円 + 税

2017 年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080 円 + 税

冊子 + 電子版/(個人) 33,080 円 + 税

電子版/(個人) 28,080 円 + 税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2017. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY®(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。